

■ ボーイスカウト用語の基礎知識

- ら -

ラウンドテーブル(Round Table)

Round-Table Conference(円卓会議)の略。テーブルを囲んで上位下位の区別なく着席し、自由に意見を交わす会議の形式をいう。各隊の隊長や副長が隊の運営や技能の研修、プログラムの研究などについて、自分の能力を向上させるため自己研鑽をする場で、通常地区コミッショナーが企画する。

ラッシング(Lashing)英語:

縛ること、縛材法。ノットイング(Knotting)が「結ぶ」のに対し、ロープ等で「縛る」こと。一般に「結索」というときには、この2つ、つまりノットイングとラッシングである。

ラリー(Rally)英語:

集まり、大会。ボーイスカウトでは、カブスカウトの大会(宿泊をとまわず、1日でおわる大会)に使うことが多い。

リーダーシップ(Leadership)英語:

指導力、指導性。ボーイスカウトではとくにメンバーシップとの関連で使われることが多い。

ローバームート(Rover Moot)英語:

ローバースカウトの大会。単にムートということもあるが本来、ムート(Moot)は、イギリスの歴史にある地方部族の集会、寄り合いに使われた言葉であり、現代では模擬裁判、討論会の意味に使われている。ボーイスカウトでのローバームートは、野外活動を中心に討論をも含めた大会というのが定着した概念である。

ローバーリング・ツー・サクセス(Roverings to Succes)英語:

ボーイスカウト運動の最年長部門であるローバースカウトのために創始者ベーデン・パウエル卿が執筆し、1922年9月に初版がイギリスで発行された。副題に「若者が男らしさを身に付ける手引き」とあるように期待される男性像が描かれ、そこに到達するように青年を励ましている。

レイノルズ(Reynolds, E.E.)

イギリス人でボーイスカウト連盟に長年勤め、創始者B-P卿の公式伝記「ベーデン・パウエル」および「スカウト運動」の著者として名高い。1910年から約50年間、ボーイスカウト運動に係わり、その間、現役のスカウト指導者としてボランティアで活躍する一方、連盟本部の専従者としてギルウェルパーク訓練センターの副所長、所長代理、機関誌「スカウター」の編集長などを歴任した。

- わ -

ワークキャンプ(Work Camp)英語:

労働を伴った教育キャンプ。労働奉仕の必要な所に出掛け、援助活動をするが、必ずしもテント生活をするとは限らない。

■ 当面の活動予定

リーダー任命式・RS隊上進式・植樹祭

集 合 : 3月31日(日) 12:50 アクトランド八尾
解 散 : 14:00

上進歓迎キャンプだホイ!

日 時 : ~ 調整 中 ~
場 所 : ~ 検 討 中 ~

■ その他活動予定

4月13~14日 カブ隊春季舎営支援
27~29日 WB研修所BS過程
28日 カブラリー設営支援
29日 カブラリー支援
5月3~5日 WB研修所BVS、CS過程
6月16日 ローバースカウト必須「ボーイスカウト講習会」
7月31日~8月8日 **第16回日本ジャンボリー** (山口県 きらら浜)